

主催校挨拶

このたび、京都大学において本学会の年次大会を開催できますことを、大変光栄に存じます。本大会のテーマは「変動する世界、変革する組織」です。本テーマは、急速に変化する国際環境と、それに対応する組織の進化という二つの視点から、現代の企業経営や国際ビジネスの在り方を問い直すものです。

現在、国際社会はかつてないほど激しい変化の中にあります。デジタル経済の急速な進展と AI 技術の飛躍的発展、地政学的リスクの高まり、コロナなどのレアイベントの頻発、持続可能性に関する取り組みの加速、GAFAM などの巨大企業の台頭——こうした大きな潮流が、国際ビジネスの新しい姿を形作りつつあります。企業はこれらの変化がもたらす課題と機会に適応しながら、新たな知識を創出し、持続的な競争力を築くことが求められています。

一方で、企業は単なる市場競争の主体にとどまらず、その存在意義そのものが問われる時代を迎えています。これまでのように「リターンとしての価値」（生産性、利益率、成長性など自社に直接もたらされる利益）を追求するだけでなく、「意味のある価値」（環境保全、人類に普遍的な価値を生み出すイノベーション、公正さの確保や幸福感の向上といった、より広範な社会的価値の実現）を創出することが、ますます求められています。企業は変革を通じて、持続可能で包括的な社会の構築に貢献する存在へと進化しなければなりません。

このように変動と変革が交錯する時代に、私たちはどのような知見を共有し、いかなる未来を築いていくべきでしょうか。本大会の開催地である京都は、千年以上の歴史を持ちながら、革新と伝統が共存する都市です。ここで皆様とともに、変動する世界の中で組織が果たすべき役割について議論し、未来への展望を共に考えられることを楽しみにしております。

第 32 回国際ビジネス研究学会年次大会

実行委員長

京都大学経済学研究科

田中 彰